

コスモス ニュースレター EMC & 安全

Cosmos Newsletter on EMC & Safety

発行日 2020-07-01

No. 121



株式会社 コスモス・コーポレーション Cosmos Corporation

〒515-1104 三重県松阪市桂瀬町 718 番地-1

<https://www.safetyweb.co.jp/>

記事の配列は、概ね、国際規格を最初におき、米、欧、オセアニア、アジアの順です。

コスモス ニュースレター EMC &安全

目次

エグゼクティブサマリー Executive Summary	2
EU: CENELEC: 規格解説: EN 55014-1 及び EN 55015 等の A11 : 2020	3
IEC: 新規格リスト	5
ISO: 新規格リスト	8
UNECE: 車両規制の整合化のための世界フォーラム: 第 180 回セッション報告書(2/3)	9
UNECE: 自動レーンキーピングシステムについての車両の承認に関する新しい国連規制	12
国際テーマ: ウクライナで新しい無線通信規格が採用	13
国際テーマ: 中国強制認証スキームの改正	14
国際テーマ: コスモス・ニュースから各国認証関連情報を再掲	14

USA: FCC: Part 15: どのタイプの非意図的放射機器が FCC 機器認可を免除されるか(3/3)	15
USA: FCC: 報告と命令: FCC は 6 GHz 帯を Wi-Fi とその他免許不要の使用に拡大する	16
USA: FCC が 70/80/90 GHz スペクトル帯へのアクセスの拡大を提案	20
USA: CPSC: 子ども用玩具等: 未加工製造繊維に対する ASTM F963 成分およびフタレート ..	20
USA: NRTL: 証明製品に適用されるマーキングの要求事項が一部改訂	20
USA: DOE: 省エネプログラム: 最近の連邦官報による通知	21
USA: ANSI/UL: 新規格リスト	22
USA: IEEE: 新規格リスト	24

EU, UK: Brexit の移行: 工業製品に関連した EU 規則に関する利害関係者へのガイダンス(3/4)26	
EU: 欧州電磁界フォーラム(EEMFF): 電磁界指令 (2013/35/EU) についての国際会議を開催 26	
EU: 車両: 規制 (EU) 2018/858 を実施する 2020/4/15 付の委員会実施規制 (EU) 2020/683 ..	26
EU: 医療機器: 通知機関の指定に関する実施規制 920/2013 への修正	27
EU: 医療機器と個人用保護具: COVID-19 の状況下で合法的に出荷できるか確認する方法 ..	27
EU: 整合規格サマリーリスト公表: 個人防護器具指令、防爆指令関連	27
EU: CENELEC: 新規格リスト	27
EU: ETSI: 新規格リスト	31

中国: CNCA: 自動車用ブレーキライニングの強制製品認証実施規則発行に関する認監委公告32	
中国: CNCA: おもちゃ、ベビーカー製品の強制製品認証実施規則発行に関する認監委公告 ..	32
中国: CQC: 蓄電用リチウムイオン電池の認証要件の変更に係る通知	33
中国: CQC: 家庭用等の電気機器の安全ならびに電磁適合性認証への新版規格の実施	33
中国: 新規格リスト	34
台湾: バイク用充電システム設備及び電池交換システム設備商品の関連検査規定	36
台湾: 「検査対象の熱陰極蛍光灯管商品の関連検査規定」を改正し、即日発効とする	37
台湾: 新規格リスト	37
韓国: 電気用品安全基準 2 種 (KC 60335-2-29、KC 10023) の改正告示	38
韓国: 電気用品と生活用品安全管理運用要領の一部改正 (案) 行政予告	38
マレーシア: 電気機器の認可に関するガイドライン第 6 版[2018 年] (8/9)	39

総務省: 令和元年度における無線設備試買テストの結果について	41
総務省: 第 5 世代移動通信システム (ローカル 5G) の技術的条件等: 意見募集	41
経済産業省: 電気用品安全法に関する質問について: 子供向けの装飾を施した電気製品	41
経済産業省: 日本産業規格 (JIS) を制定・改正しました (2020 年 6 月分)	42
国土交通省: 自動運国土交通行装置 (レベル 3) に係る国際基準が初めて成立しました	43
国土交通省: WLTC モード法による排出ガス規制を延長します〜コロナウイルス対策〜	44
ちよつといっぷく~小クイズコーナー 中国 CCC 認証が対象となる一部製品の定格について ..	44
コスモス・コーポレーション: 自動車部品の耐水試験についてのご案内	25
社長の独り言	45

EU: CENELEC: 規格解説: EN 55014-1 及び EN 55015 等の A11 : 2020

- 以下 4 規格に対し A11 : 2020 が発行された: EN 55011 : 2016 、 EN 55014-1 : 2017 、 EN 55015 : 2019、 EN 55032 : 2015。
- これら 4 件の規格に対し、2020/03/06 付けで CISPR 規格になく CENELEC 規格に特有の修正版 A11:2020 が発行された。これら A11:2020 により、附属書 ZZ「この欧州規格と、対象となる指令の必須要件との関係」が組み込まれ、この処置によりこれら規格は近い将来、EU 官報に掲載を予定することができるようになった。

UNECE: 車両規制の整合化のための世界フォーラム: 第 180 回セッション報告書(2/3)

車両規制の整合化のための世界フォーラム 第 180 回セッション(ジュネーブ、2020 年 3 月 10～12)が開催され、報告書 ECE/TRANS/WP.29/1151 が発行されている。

- **2. 汚染とエネルギーに関する作業部会 (GRPE)**
GRPE は、WLTP に関する新しい国連規制の 00 および 01 シリーズの修正案を承認した。
- **4. 自動/自律および接続車両に関する作業部会 (GRVA)**
議長は 2020 年 6 月の WP.29/AC.1 への、次の 3 つの国連規制案の採用のための提出について言及した。(i) サイバーセキュリティとサイバーセキュリティ管理システムに関する、(ii) 自動レーンキーピングシステム (ALKS) に関する、及び(iii) ソフトウェア更新およびソフトウェア更新管理システムに関する国連規制案
- **C. 国際全車両型式承認 (IWVTA) システムの開発**

USA: FCC: 報告と命令 : FCC は 6GHz 帯を Wi-fi とその他免許不要の使用に拡大する

- FCC は 6 GHz 帯を Wi-Fi とその他免許不要の使用に拡大する: 報告と命令、及び規則制定案の更なる通知 FCC 20-51 を発行
- **本報告と命令**では、6 GHz 帯に免許不要のブロードバンド運用を拡大する機会を捉え、米国民に便益を与えようとするものである。私たちは、6 GHz 帯における 2 タイプの免許不要の運用を認可する。第一に、AFC システムの使用を通じた免許不要の標準電力アクセスポイントを認可する。第二に、私たちは、6 GHz 帯全体を免許不要の屋内低電力アクセスポイントに開放する。320 メガヘルツまでのチャンネルの使用に対し、免許不要の運用への機会を、提供する。
- **本報告と命令**に加えて、私たちは、極低電力デバイスの 6 GHz 帯全体での運用を許可することを提案する**規則制定提案の更なる通知**を発行する。この提案された措置は、連続する 1200 メガヘルツスペクトラムの一ブロックを、新しい、革新的なハイスピード、短距離デバイスの開発に利用できるようにするだろう。

中国: CNCA: 自動車用ブレーキライニングの強制製品認証実施規則発行に関する認监委公告

- 自動車用ブレーキライニング製品は製造許可から強制性認証 (CCC 認証) 管理に転換される。

国土交通省: 自動運行装置 (レベル 3) に係る国際基準が初めて成立しました

- 日本は、自動運行装置等の基準化に向けて、WP29 傘下の専門家会議等において共同議長等の役職を担い、官民オールジャパン体制で議論をリードしてきたところです。
- 6 月 24 日、ウェブ会議の形式で開催された WP29 において、初めて自動運行装置 (レベル 3)、サイバーセキュリティ及びソフトウェアアップデートの国際基準が成立しました。

社長の独り言

2020年6月24日

濱口 慶一

温暖化の影響でしょうか？どうもここ数年の梅雨が少し変わってきているように感じます。そのせいか、今年は足長蜂の群が強く出ているようです。毎朝、寝起きの格好で新聞を取りに出るのですが、15日と16日に続けて左足を足長蜂に刺されてしまいました。アナフィラキシー症状が出るのではとビクビクしていましたが、幸いそのような症状は出ませんでした。しかし、刺されて3日目から患部周辺が痒くなったのが苦痛でした。昨年、大雀蜂に刺されたので、何か出るかなと感じてはいたのですが、無事にやり過ごす事ができたようです。ただ、安易に考えずに医師の診断を受けようと思います。

私が以前に所属していた会社が破産して京セラに買収されたことで数年間、京セラの現名誉会長である稲盛和夫さんに直接、会社経営や個人の考え方や生き方について教えを受けたことが、コスモスの現在の経営に活きていると確信しています。元の会社の経営破綻時は学生運動の盛んな時代で、右や左や中道などの思想が毎日テレビなどで話題になる時代であり、一労働者としては、資産力のある素晴らしい会社を買収されて安堵したのが正直な気持ちでした。

京セラが買収を決定する迄の過程で、担当管財人の弁護士の方から要請を受け、伊勢工場に設立された労働組合(?)の副委員長に就任しました。開発設計の一員に過ぎなかった私が、全く知らない世界へ引き摺り込まれたという思いが今でも残っています。その弁護士さんからよく依頼されて、当時の委員長と私は伊勢から都内のご自宅までの運転手を担当しましたが、今思えば、倒産会社の社員であっても経営者の立場に立って経営に参加させるための彼の教育だったように思います。この弁護士の方から受けた教育や、京セラの一工場として編入されてからの社員教育で得た経営者の思想で、任されていた開発設計チームでの京セラフィロソフィ勉強会も抵抗無く進められました。私のチームに京セラ本社での採用者4名が意図的に配属されたことがあり、自分の経験や考え方などを惜しみなく、一生懸命に教えることができたのを懐かしく思い出します。その4名のうちの1人が支社長になったと聞きましたが、その方が結婚した相手は、私の在籍中に秘書のような業務をしてくれていたスタッフでした。私が京セラを退職した後のある日、深夜にその方の母親から電話で「娘が明日結婚するが、このまま結婚させて良いか」と質問されました。「その方は素晴らしい青年で、必ず京セラで出世するから結婚させてあげてください」と答えて良かったと思っています。

最近、EMC業界で実力者と言われている方の転職の噂を聞きました。もちろんご本人の学習により、力量アップに努力した結果として、組織や業界において実力者としての評価が高まったと考えられます。一方で、経営者として考えると、会社が経営資産を投入して育てたことも実力アップの大きな要因であるという見方もできるのではないのでしょうか？個人にとっては高額な測定器を購入し、業務で収益を上げながら、測定技術力も養成できますし、大部分のスタッフの技量は、企業の創り出した環境のなかで育てられたものが多いと私は理解しています。特にISO 17025に基づいて運営されている試験機関には、担当要員の資格規定と教育による資格の維持と向上が明確に求められており、その結果、スタッフへの教育としての経営資産の投入が義務付けられると理解し、組織運営の重要項目として行っています。

稲盛和夫さんが最近出した「心」という本があります。稲盛さんが私に教えてくれた、「人より得意とすることが自分にあると思えたら、それを仲間のため、自分について来てくれる人のためにその能力を惜しみなく使いなさい、個人の欲に使わないように！」という言葉が胸に響きます。安易に転職や独立をしてしまうと、業界でお客様の厳しい評価を受けることとなりますよというアドバイスを若い人に送りたいと思います。

新型コロナウイルスの騒ぎで日本蜜蜂養蜂家が増えているようで、仲間が増えてきているのを嬉しく思う今日この頃です。皆様のご健勝を祈ります。

● ニュースレターの内容

本誌は、**EMC、安全、及び省エネ (EMC, Safety and Energy Conservation)** 分野に係り、世界の主要機関/地域により実施されかつ電気電子製品デバイスに適合が求められている規格/法規制について、その関連情報を、お届けいたします。

重要情報を幅広く調査、収集、かつ、要約して掲載し、当該分野の最新情報、潮流をすばやく捉えることができるようにいたします。情報源を明示しますので、貴殿の関心により、更に深い調査が可能です。

本誌は各国への技術法規適合製品を試験 認証 開発 管理される部門の方にとり必読の内容です。

- 対象機関/地域: IEC 等国際機関、並びに、FCC, UL を含む米国、EU, CENELEC, CEN を含む欧州、その他オセアニア、及び日本を含むアジアの各地域

- 情報源: カバー対象の機関、地域の Web site、或は情報サービス。又、ご協力のご同意を頂いた日本国内及び米国・欧州・中国・韓国・台湾などの当該分野権威者から提供された情報。

● 本誌購読のお申し込み方法

コスモス・コーポレイション CS 部 (カスタマーサービス部) まで Yamashita-jun@cosmos-corp.com
Tel 0598-30-5225 Fax 0598-30-5571

- 発行: 年間 11 回発行。各号 A4 版、40 ページ前後。

- 価格: 各号 2,000 円 (年間購読の場合 1 年 11,000 円)(消費税込)

● 本誌の内容案内、ご購入案内は、<https://www.safetyweb.co.jp/services/other/publication/>

本誌の記事が正確であるよう最大の努力を払っておりますが、間違いが含まれていることがあるかもしれません。本情報をご使用になられる場合はご自身でもう一度ご確認ください。

株式会社コスモス・コーポレイションは、下記 Web site の運営体からそれぞれ個別の条件の下、Web 情報の引用、転載につき許可を頂いております。翻訳転載された記事の著作権は原著権者に属します。本誌掲載記事の無断転載を禁じます。本誌の複製、再配布は電子的なものを含み禁じます。

国際機関	IEC: International Electro technical Commission	国際電気標準会議
米州	A2LA: American Association for Laboratory Accreditation	米国試験所認定協会
	ANSI: American National Standards Institute	米国規格協会
	FCC: Federal Communications Commission	連邦通信委員会
	IEEE: Institute of Electric and Electronics Engineers	米国電気電子学会
	CSA: Canadian Standards Association	カナダ規格協会
欧州	CENELEC: European Committee for Electro technical Standardization	欧州電気技術標準化委員会
	ECO : European Communications Office	欧州通信オフィス
	ETSI: European Telecommunications Standards Institute	欧州電気通信標準協会
	EU/EC: European Union/European Commission	欧州連合/欧州委員会
オセアニア	ACMA: Australian Communications and Media Authority	オーストラリア通信/メディア局
	NZ: New Zealand Government Radio Spectrum Management	ニュージーランド政府 RSM
アジア	BSMI: Bureau of Standards, Metrology & Inspection	台湾經濟部標準檢驗局
	CNS: Chinese National Standards Online Service	台湾中国国家規格検索システム
日本	METI: Ministry of Economy, Trade and Industry	経済産業省
	MIC: Ministry of Internal Affairs and Communications	総務省
	NPB: National Printing Bureau	独立行政法人国立印刷局
	VCCI: Voluntary Control Council for Interference	一般財団法人 VCCI 協会

Cosmos Corporation is granted the copyright authorization for the reproduction of the Web site information from the above listed organizations with the individual condition. Further use, modification, redistribution of the information on the Cosmos Newsletter on EMC & Safety is strictly prohibited.

コスモス ニュースレター EMC &安全 (Cosmos Newsletter on EMC & Safety) 2020-07-01 (No. 121)

発行所: 株式会社コスモス・コーポレイション 本社・松阪事業所

住所: 〒515-1104 三重県松阪市桂瀬町 718 番地 1 ホームページ: <https://www.safetyweb.co.jp/>

発行人: 濱口慶一

編集人: 倉品光雄 iNARTE 認定 Certified EMC Engineer (EMC-002315-NE)

© 2020 株式会社コスモス・コーポレイション Cosmos Corporation

本誌の複製、再配布は電子的なものを含み禁じます。